

留学体験レポート

国際文化学科

広木 玖実依

私は4ヵ月間、韓国のキョンヒ大学で語学留学をしてきました。今まで、海外に行く経験はあったのですが、日本を離れて4ヵ月間生活をするという経験は初めてでした。

留學生活の前半は、慣れない生活、寂しさや日本の恋しさなどがあり、早く帰国したい気持ちでいっぱいでした。寄宿舎は、2人1部屋でした、今まで違う環境、生活習慣だったルームメイトと一緒に暮らすというのは少しストレスでした。家に帰っても1人になれることがあまりなく、日本にいたころは1人であることが多かった自分にとっては辛いものがありました。ですが、落ち込んでいた時はルームメイトの明るさに元気づけられたり、困ったときはお互い助け合ったりすることがあって、ルームシェアはとても良い経験でした。

後半はクラスの子とも馴染み、住んでいる周辺の美味しいお店などもわかってきてまだ韓国に残りたいという気持ちに変わっていきました。トウミとも仲良くなり、週に1回は必ず会って、トウミお勧めの食堂に行ったりしました。トウミには、ほかの大学を案内してもらったり、日本の味を再現したどんぶりのお店に行ったり、お勧めの化粧品を紹介してもらったり、景福宮に一緒に行ったり、紅葉を見に行ったり、ソウルのランタン祭りに行ったりしました。わからないことがたくさんだった私にとってはトウミの存在はとても大きかったです。また、クラスの子とは学校以外でも会うことが多く、夜ごはんを一緒に食べたり、休日は買い物に行ったりしていました。会話は全部韓国語でした。日本語が通じる子はいなかったので伝えたいことが上手く伝わらなかったときはもどかしい気持ちでした。ですが、お互いの国の文化や食べ物について話したりしながら、間違っている韓国語は注意し合ったりして、毎日が新鮮で楽しかったです。

ごはんを食べに行くとき、最初はどこのお店が美味しいのかわからなかったもので、とにかく色んなお店に食べに行っていました。韓国といえば、辛い料理というイメージでしたが、実際その通りでした。特に、ビビンパやサムギョプサルはお店によって味が違って面白かったです。ユクサンネンミョンという店のビビンパはとても気に入って、お店の人に顔を覚えられるくらい食べに行っていました。

韓国語の勉強が本格的にできて、お気に入りのお店ができて、新しい仲間が増えて、楽しい思い出がたくさんできて、悩むこと辛かったこともあったけど、この4ヵ月間は自分にとって濃い時間であり一生忘れられない経験となりました。お世話になった先生方や大学のみんな、トウミ、行かせてくれた親に感謝したいです。